

研究課題名：肺癌検診喀痰細胞診が契機で検出された肺腺癌の細胞像

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可した研究であり、1995～2008年における喀痰集検受診者のうち、喀痰細胞診のC・D・E（中等度異型・高度異型/癌を疑う・癌）判定から発見された肺腺癌症例の細胞像の解析を行ないます。腫瘍径をS（～2cm）・M（2～3cm）・L（3cm～）の3群に分類し、腫瘍の大きさによる形態学的な特徴を解析します。

肺癌検診喀痰細胞診は肺門部早期扁平上皮癌の発見を目的に実施されていますが、当施設の喀痰検診で発見される肺癌の約20%は腺癌であり、近年増加傾向が認められています。喀痰細胞診による早期肺扁平上皮癌の論文は多数報告されていますが、肺腺癌の形態学的な報告はわずかです。肺腺癌腫瘍の大きさ別に細胞像の特徴を解析することにより、肺腺癌の組織型のみならず浸潤の程度を推定することに貢献できる可能性が考えられます。

本研究における個人情報等の扱いは以下の通りです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体資料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者および分担研究者は、本研究に関して利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合、またお問い合わせ等につきましては、下記までご連絡ください。

主任調査研究責任者

ちば県民保健予防財団 検査部 病理・細胞診断科
科長 田口明美

分担調査研究者

国保直営総合病院 君津中央病院 呼吸器外科
柴 光年